

**平成28年度
東京福祉大学
東京福祉大学短期大学部
高大連携開設講座一覧**

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
伊勢崎キャンパス 池袋キャンパス ファカルティ・デ イベロップメント 専門部会	部会長 教授 副部会 長 特任准 教授 准教授 准教授 准教授	成田 成 学術博士 新潟大学大学院自然科学 研究科博士課程修了 元京都大学霊長類研究所 共同利用研究員 生沼 礼一 社会福祉学修士 日本社会事業大学大学院 社会福祉学研究科博士前 期課程修了 元知的障害 者支援施設支援員 社会福祉士 荒野 多門 修士（農学） 筑波大学大学院博士課程 農学研究科修了 元東京福祉保育専門学校 専任教員 社会福祉士 堀 肇 修士（文学） 法政大学大学院人文科学 研究科哲学専攻修了 元東京福祉保育専門学校 専任教員 水島 正浩 社会福祉学修士 元神奈川県教育委員会ス クールソーシャルワーカー 社会福祉士 介護福祉士	高等学校への アクティブ ラーニング 導入支援	【教員】	<p>① 授業見学 本学にて双方向対話型・学生参加型の授業を見学して いただく。また、本学におけるアクティブラーニング の取り組みを担当教員から説明する。</p> <p>② 教員研修 本学教員を高等学校に派遣して、アクティブラーニン グの内容、実施方法について研修をする。希望により、 本学に来校していただき、上記①と併せて研修を実施 することも可能。</p> <p>③ ファカルティ・ディベロップメント（FD）研修 会への参加 本学教員の教育力向上をはかるために定期的を実施し ている FD 研修会に、実際に参加していただく。</p>
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	副学長 教授	喜多村 悦史 博士(社会福祉学) 元経済企画庁総合計画局 計画官 元社会保険庁企画・年金管 理課長	「年金のなはし」 【講話】 【出前授業】	【生徒】 【保護者】	厚生労働大臣から「年金委員」を委嘱されているが、その事務局で ある日本年金機構・新宿年金事務所から、同所作成の高校生向けテ キスト『年金のなはし』の送付を受けた。わかりやすくできている ので、これを教材として、空いている時間を活用して、生徒さらに その保護者相手に、公的年金の意義や必要性について対話型の講話 を試みようとする。

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
名古屋キャンパス 社会福祉学部 経営福祉専攻	教授	岡田 廣司 博士（国際公共政策） 元名古屋市立大学大学院 経済学研究科教授 商品開発・管理学会及び同 学会付属研究所創設（初 代事務局長常任理事及び 研究所専務理事）	「社会の変革と 新製品開発」 【講演会】 【出前授業】	【生徒】	企業では、社会の変化を捉えながら、新しい時代に相応しい新製品を開発して、生活者に提供している。新製品には趣味をエンジョイするモノ、生活環境を向上するモノ、あるいは毎日の食生活を豊かにするモノなど、様々なモノがある。この講座では、筆者がエンジニアとして企業時代に開発し、事業化した新製品の中から、「世界初のカラオケ」の事業化、あるいは東京福祉大学に相応しいテーマである「視覚障害者向けバリアフリーシステム」の研究など、消費者のニーズを捉えながら新事業として取り組んだ、新製品開発に関する講座である。（パソコン・プロジェクターの用意）
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	教授	長谷川行雄 社会学修士 前板橋区立保健所精神保 健福祉相談員 精神保健福祉士 臨床心理士	「アルコール乱用者 への対応」 【講演会】 【出前授業】	【生徒】 【保護者】 【教員】	アルコール乱用者の特徴、アルコール乱用者に対する家族の対応方法、回復のための社会資源の紹介など。
名古屋キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	教授	松浦 直己 学校教育学博士 医学博士 元神戸市立公立小学校教 諭 奈良教育大学客員教授	「思春期の心 —青年期特有の問題を 理解する—」 【講演会】	【教員】 【生徒】	青年期は、非行などの外在的問題や、うつや摂食障害を始めとした、特有の精神的問題を好発させる時期であることは意外と知られていない。本講座では、このような問題を示す子どもたちをどう理解し、支援したらよいか、脳科学的視点から解説する。
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	准教授	三野 宏治 博士（学術） 人間科学修士 元秋田看護福祉大学看護 福祉学部福祉学科専任講 師	「鬱の人への サポートを考える」 【講演会】	【保護者】	精神保健福祉士として鬱の方へのサポートにかかわってきた経験から、サポートする際、気に留めて置くことなど。
池袋キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	准教授	水島 正浩 社会福祉学修士 元神奈川教育委員会スケ ルソーシャルワーカー 社会福祉士 介護福祉士	「福祉やソーシャル ワークの入門」 【出前授業】	【生徒】	福祉やソーシャルワークの入門講座

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
池袋キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	講師	金川 朋子 博士（社会福祉学） 修士（教育学） 大阪府教育センター指導主事 大阪府立支援学校教諭 大阪教育大学付属特別支援学校教諭	教員をめざす高校生のために 「特別支援教育 —理解と支援について—」 【出前講座】	【生徒】	これからの教育では、一人一人のニーズに応じた教育（特別支援教育）の知識が求められる。本講座では、特別支援教育について、基礎的な知識について学ぶ。また、座学だけでなく、支援の方法の一つであるムーブメント教育について、実技を通して学び、障害理解を深められる講座を考えている。
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	講師	荻野 基行 修士（社会福祉学） 立正大学大学院社会福祉学研究科修了 社会福祉士	「ソーシャルワーカーと 社会福祉士」 【出前講座】 【進路ガイダンス】	【生徒】	ソーシャルワーカーと社会福祉士の理念、違い、業務内容等について本学の授業形式を用いて行う。
池袋キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	講師	鹿内 佐和子 社会学修士 前社会福祉法人JHC板橋会 精神保健福祉士 社会福祉士	「信頼関係を築く 話の聴き方」 【出前授業】 【進路ガイダンス】	【生徒】	精神保健福祉士の仕事は支援する人との信頼関係を築いて、一緒に課題に取り組んでいく。精神保健福祉援助演習で行っている面接の基本姿勢については、一般の方にも人と信頼関係を得て、円滑な人間関係を築く上で役立つのではないかと考える。
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース	講師	山下 喜代美 修士（学術） 元群馬県立医療短期大学 臨地実習指導員（非常勤）	「介護に関すること」 【出前授業】 【進路ガイダンス】	【生徒】	大学の介護福祉コースで何を学ぶのか 介護に関する模擬授業
名古屋キャンパス 社会福祉学部 社会福祉学科	講師	西脇 雅彦 学士（社会福祉） 元愛知県立大学特別支援教育研究協力員 障害児施設療育アドバイザー 臨床発達心理士	「自閉症児の心理世界」 【講演会】	【教員】 【生徒】 【保護者】	自閉症児の行動とその行動の心理背景について理解を深める。自閉症が理解不能な行動をとるのではなく、誰もが同じような世界にあることを理解させることが、この講座のねらいである。保護者や学生、または興味関心のある教員の方々を対象にしたい。 （パソコン・プロジェクター使用）
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	教授	橋本由利子 博士（医学） 元群馬県立精神医療センター嘱託歯科医師	「一生つき合う 歯と口のお話」 【講演会】	【生徒】 【保護者】 【教員】	この講座では、まず自分の歯と口のしくみを解説する。そして一生自分の歯と口で食べるために、小児期には歯磨き習慣の確立、成人期には歯科健診を受ける習慣の確立、高齢者には口腔機能の低下を予防する口腔体操が重要であるということを解説する。とくに口腔体操は高齢者ばかりでなく、若い方にもおすすめである。なぜなら口腔内ばかりでなく顔全体を刺激するので、いつまでも若々しい顔を保つことが出来るからである。

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
池袋キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	教授	北林 敬 修士（教育学） 元東京都立板橋高等学校長 元東京都立国分寺高等学校統括校長	「教師を目指す人のための 教職課程科目案内」 【進路ガイダンス】	【生徒】	幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭等の教員免許状取得に向けて、大学で受講する教職課程科目はどのようなものかガイダンスを行うとともに、時間が許す範囲で教育学概論や教師論等の入門レベルの授業を体験してもらう講座である。
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	准教授	荻原 邦昭 教育学修士 元川口市立桜町小学校長 元川口市立八幡木中学校長	「子どもを『わかる』 ということ」 【講演会】	【保護者】	高校生という多感な時期を迎えている我が子との付き合い方はどうあるべきか。特に子どもの気持ちを理解するうえで大切にしたいことは何か、について保護者と共に考える。
池袋キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	石 暁玲 博士（教育心理学） 元関西学院大学文学部助手 臨床発達心理士 学校心理士	「多文化の視点の活かし方」 【講演会】 【出前授業】	【教員】 【生徒】	事例を通して、「生活の中で多文化の視点をどのように活かしていけるのか」について学ぶ。
			「虐待予防を考えよう ～子どもを受け止める力 とは何か～」 【講演会】 【出前授業】	【教員】 【生徒】 【保護者】	虐待予防に向けた「子どものネガティブな感情表出を受け止める養育力」の強化方法。
池袋キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	平沼 晶子 博士（心理学） 白百合女子大学文学部児童文化学科助教 臨床心理士	「赤ちゃんのもつ能力 ～言葉の発達について 考えてみよう！」 【出前授業】	【生徒】	「言葉」とは私たちの生活において欠くことができない。では、私たちはどのようにして言葉を覚え、使えるようになったのだろうか。赤ちゃんがもっている能力と、それを引き出し育てる大人との関わりについて、言葉の発達という視点から考える。
池袋キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	若狭 清紀 文学修士 元早稲田大学人間科学部助手	「生きる意味と社会」 【講演会】	【生徒】	現代社会で人はどのようにして生きる意味を見失うのか、これからの社会で生きる意味を見出していくにはどうすればよいのかということについて、ヴィクトール・フランクルの思想などを手がかりに考える。
池袋キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	携上 哲夫 修士（教育学） 元埼玉県公立養護学校・小学校教諭 元啓明学園初等学校・中学校高等学校教頭	「高校と大学の授業 —違いは何？」 【出前授業】 【進路ガイダンス】	【生徒】	大学の授業と高校までの授業の違いについて、具体的な事例を通して生徒が実感できる内容を提供する。

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	佐野 葉子 博士（応用生命科学） 前富士宮市立病院看護部 主任助産師 看護師 助産師 学芸員	「命の教育 ～生・性の教育」 【出前授業】	【生徒】	命の大切さ 生きていることのすばらしさ 性について考える
伊勢崎キャンパス 社会福祉学部 保育児童学科	講師	瑞穂 優 修士（教育学） 元富士常葉大学保育学部 専任講師	「赤ちゃんの不思議」 【出前授業】	【生徒】	人間の赤ちゃんの不思議な行動を紹介する。赤ちゃんがどのように人のなかで育てられ、どのように言葉を覚えていくかについて学ぶ。
伊勢崎キャンパス 心理学部 心理学科	心理学 部長 教授	手島 茂樹 博士（臨床心理学） 臨床心理士	「心のブレーキを考える」 【講演会】 【出前授業】	【保護者】 【生徒】	やる気を出させ、物事に集中して取り組ませることができれば・・・と多くの親や教師は考えているものである。もっとがんばれば持って生まれた実力が発揮できるのにね、とうことである。しかし、物事はそう簡単にはいかない。心に（程度の差はあるものの誰にでも）ブレーキがかかっているからである。ここではブレーキの正体とブレーキの対応の仕方について語りたい。主に思春期の我が子を持つ親に役立つ。
名古屋キャンパス 心理学部 心理学科	教授	長坂 正文 教育学修士 元椛山女学園大学講師 臨床心理士	「心の健康を考える」 【講演会】	【生徒】 【教員】 【保護者】	心の健康について、どのようにとらえ、何が問題で、何に留意し、どのようにすればよいか、具体的に事例を交えながら、分かりやすくお話しする。内容は、対象が教員・保護者・生徒によって多少異なるが、基本的なところは同じである。
伊勢崎キャンパス 心理学部 心理学科	准教授	大澤 靖彦 教育学修士 元富山県スクールカウンセラー 臨床心理士	「心理学のいろいろ、 コミュニケーション」 【出前授業】	【生徒】	さまざまな領域の心理学についての概要 相互交流の方法
王子キャンパス 心理学部 心理学科	准教授	成本 忠正 博士（心理学） 元中京大学心理学部助手	「人の記憶について」 【出前授業】	【生徒】	人の記憶システム機能について概説する。短期的な記憶と長期的な記憶の違いや、思い出すことが出来ないのはなぜなのか、という問題について紹介する。
王子キャンパス 心理学部 心理学科	講師	佐藤 篤司 博士（学術） 法政大学現代福祉学部臨床心理学科助教 かながわ臨床心理オイス 臨床心理士	「思春期の子どもの心と 親のかかわり」 【講演会】	【保護者】	思春期の子どもの心とはどのようなものになっているのか、精神発達の観点から講義を行い、そうした子ども達への親のかかわり方について解説する。

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
伊勢崎キャンパス 教育学部 教育学科	教授	栗原 久 医学博士 工学修士 元群馬大学医学部助教授	「 学校で学んで社会で働く 」 【講演会】 【出前授業】	【教員】 【生徒】 【保護者】	働くことは社会人の義務であり権利であるが、職種タイプから、レイバー（労働者）、プレイヤー（タレント）、ワーカー（仕事人）に分類できる。それぞれの仕事にはどのようなものが該当するのか、どうすれば生涯にわたって仕事に意欲的に取り組めるか、そして、仕事に就くまでになぜ学ばなければならないのかを考える。
			「 薬物（危険ドラッグを含む）の害 」 【講演会】 【出前授業】	【教員】 【生徒】 【保護者】	薬物乱用は、発達した脳を持った人間だけにみられる、依存性薬物の自己投与行動である。その原因と心身、社会に及ぼす悪影響について、動物実験の実写を含めて紹介し、薬物乱用に対する正しい知識を醸成する。
伊勢崎キャンパス 教育学部 教育学科	教授	加藤 敏明 教育学士 元渋川市校長会長 元渋川市立金島中学校長	「 温暖化対策 」 ～私たち一人ひとりが できること～ 【講演会】	【教員】 【生徒】 【保護者】	地球温暖化による異常気象が、私たちの生活を脅かしている。そこで、今現実起こっている温暖化の現象から私たちの生活をどのようにして守らなければならないのか。また、私たち一人一人が、できることはどのようなことが考えられるか。参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思う。
名古屋キャンパス 教育学部 教育学科	准教授	石崎 達也 教育学修士 元滋賀県済生会看護専門学校非常勤講師	「 親子で向き合うキャリア教育 」 ～家庭内キャリア教育 のすすめ～ 【講演会】	【保護者】	東京福祉大学のキャリア教育実践・学生相談事例（主に教育学部生）をふまえながら、子どもの社会的・職業的自立に向けて、親としてどのように支援していったらよいかについて具体的に提案します。その提案をもとに、参加者同士で子どものキャリアについて語り合い、深く考える機会を提供します。
伊勢崎キャンパス 教育学部 教育学科	准教授	柴田 隆史 博士（国際情報通信学） 早稲田大学国際情報通信研究センター・助手	「 新しい映像情報メディアを活用した学習（仮題） 」 【出前授業】	【生徒】	立体映像やVR（バーチャルリアリティといった新しい映像情報メディアの教育利用に関する体験的な授業を行い、研究事例や最新動向などを通して「大学での学び」の一つを紹介する。
伊勢崎キャンパス 教育学部 教育学科	准教授	志手 和行 教育学修士 神奈川大学経営学部非常勤講師	「 英語教育におけるコミュニケーション能力とは何か 」 【出前授業】	【生徒】	英語コミュニケーション能力は小・中・高の8年間（小学校は5、6学年の2年間）を通して学校教育で養成することが期待されている。高校生であればこれまで様々な練習活動を通じて英語によるコミュニケーションの経験を授業内で積み重ねてきたと考えられる。そこで当講座では実施する活動の種類に応じて当能力の向上がどのように期待できるのか、コミュニケーション能力のモデルを基に考察する。実際に英語を使用する活動を経験しながら理解を深めていく。

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
池袋キャンパス 教育学部 教育学科	准教授	竹内 俊彦 工学博士 元東京理科大学理学部第 二部数学科非常勤講師 元早稲田大学大学院人間 科学情報科非常勤講師	「クイズによる 知性の測定について」 ～コミ Po!でマンガを描こう	【生徒】	クイズは少なくとも通常のテストよりは興味を惹く。また慎重に作れば、事前の知識なしで、ほぼ万人が原理的に回答可能である。つ おり、ある人の知性を測定する方法として、テストよりもむしろ適 しているのではないか。以上の考えに基づき、新しい種類のクイズ をいくつも作成している。それらのクイズを紹介し、知性のその測 定について考えたい。コミ Po!という市販ソフト（無料版あり。機能 は製品版と同じだが、保存ができない）を使って、まったく絵が描 けなくても、1時間半でマンガを描けるようになる！
池袋キャンパス 教育学部 教育学科	講師	田村にしき 博士（学術） 元東京藝術大学ティーチ ングアシスタント 元学術振興会特別研究員 （DC2）	「音楽で コミュニケーション」 ～合奏にチャレンジ～	【生徒】	保育士・幼稚園教諭養成や、小学校教諭養成の「音楽」の授業で演 奏されるミュージックベル（ハンドベル）を用いて、グループごと に合奏をしたり、リズム遊びをしたりすることを通して、他者の音 を聴きながら音を奏でる楽しさや、達成感を味わってもらおう。さら に、本学の特色であるグループワークを取り入れた対話形式の授業 を体験することで、本学の教育内容の理解を深めてもらう。
伊勢崎キャンパス 全学入試管理委員 会	特任教 授	栗原 長吉 前群馬県立前橋女子高等 学校長 前群馬県高等学校文化連 盟会長	「保護者対応の配慮事項」	【教員】	教育現場では様々な保護者からのニーズへの対応が求められてい る。どのようなことに配慮する必要があるのか。そのニーズの背景 を考察しながら考える。
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	教授	山本 豊 社会科学士（法学） 東京都庁行政職職員 渋谷区教育委員会指導室長 特別区指導室長会代表	「小中学校の先生が 知っておきたい 教育法規」 【講演会】	【教員】	幼稚園から高等学校までに勤務する教員が知っておきたい教育に関 する法規についての話である。たとえば、体罰、服務事項、いじめ、 学校事故などに関して法的な観点から考える内容である。
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	教授	新井 良保 修士（教育学） 鎌倉女子大学児童学部児 童学科教授 国立重度知的障害者総合 施設のぞみの園主任研究 員	「障がいの重い児(者)が 求めるムーブメント プログラム」 ～MEPA-ⅡRの実施と 活用の手引～ 【講演会】 【出前授業】	【生徒】 【保護者】	障害児保育に生かすムーブメント法 障害児保育に役立つムーブメント教育・療法 特別支援教育に活かすムーブメント教育・療法

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	教授	田口 雅夫 芸術学修士 秋草学園短期大学幼児教育学科教授・専攻科長(幼児教育)	「幼児教育に必要な指導内容」 【講演会】 【出前授業】	【生徒】	音楽一般・ピアノ技術・歌唱アンサンブル等の指導技術
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	准教授	松本 岳志 教育学修士 元私立保善高等学校教諭	「こども用楽器（ミュージック・ベル）で合奏体験」 【出前授業】 【進路ガイダンス】	【生徒】	こども用楽器（ミュージック・ベル）を使った合奏（アンサンブル）を体験する。自ら演奏に参加すること、そして他者と協同してひとつの音楽を作り上げていく楽しさを味わう。加えて、幼児期における豊かな音楽経験が子ども達の発達・成長において如何に重要であるかを学ぶ。
			「ICTを活用した音楽学習や音楽活動」 【出前授業】 【進路ガイダンス】	【生徒】	コンピュータやタブレット端末などICTが身近となった現在、音楽学習や音楽活動においても積極的にこれらの機器が活用されるようになってきた。様々な音楽学習用アプリケーションやシーケンスソフト、楽譜作成ソフトなどを紹介しながら、ICTを活用した音楽学習や活動を身近なものと感じてもらい、主体的に音楽に関われるようにする。
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	講師	齋藤 雅記 体育学修士 元徳山大学講師	体育の授業を分析 走/投の能力を伸ばす 運動の得意な子を育てる 教育者・保育者になるために必要なこと 体育に関する内容 保育に関する内容 【講演会】 【出前授業】	【教員】 【生徒】 【保護者】	体育教員の授業を映像の撮影し授業の分析 走・投の運動を動作の観点から向上させるポイント 運動が得意とはどういうことか 教育者・保育者になるための必要な能力及び進路等 体育に関する内容について実践 保育に関する内容について講義形式
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	講師	安藤 哲也 修士（教育学） 群馬県国公立特別支援学校・幼稚園・小学校・中学校教諭 群馬大学教育学部実地指導講師（併任）	「幼稚園・保育園の先生の役割を疑似体験してみよう」 【出前授業】	【教員】 【生徒】	幼稚園教員研修用の映像を通して、実際の保育場面における先生と子どものかかわりの様子を見る。その映像事例をもとに、一人一人の幼児の思いをどのように解すればよいのか、一人一人の幼児にどのようにかかわっていけばよいのかを具体的に考える。 (DVD、プロジェクト)

所属キャンパス 学部・学科	職	氏名 学位・主な経歴	講座名 講座形態	対 象	内 容
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	講師	箕輪 欣房 Master of Education 修士（学術） 元群馬県小・中学校教員 元足利短期大学非常勤講師	「小中学生の学力」	【教員】 【生徒】	毎年全国学力調査（学力テスト）で上位をキープしている東北地方の県をはじめとして各都道府県の順位が世間を騒がすが、この間の小中学生の学力はどうなったのかという問題提起ができればと思っている。
			「クラスの児童生徒の 学校生活意欲を 調べよう」	【教員】 【生徒】	Q-Uを使って教育実践を自己分析してみる。クラスの生徒の心的状況を客観的なデータしてとらえ、担任するクラスの問題点を点検して「やる気」のあるクラスをつくるためにはどのようにすればいいのかアドバイスができればと思っている。
伊勢崎キャンパス 短期大学部 こども学科	助教	高木麻衣子 修士（教育学） 山梨大学ティーチングアシスタント（ピアノ演奏法Ⅰ、演奏指導補助）	「歌と音楽絵本！ 皆で楽しむコンサート」 〈映像と共に〉 【出前授業】	【生徒】 【保護者】	音楽絵本「ピーターと狼」の映像と生演奏。音楽絵本のその意義と必要性の講義。また、童謡、歌唱などゲストのオペラ歌手と一緒にわかりやすく演奏する。（アウトリーチコンサート） 生演奏を通じて、音楽の共感する感動を肌で感じることを目的とする。